

2016年度 幸福の科学学園関西中学校・高等学校 学校評価

本年度の学校目標

- ・「高貴なる義務」を果たす、「徳ある英才」を育てる。
- ・宗教教育によって、神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った人材を育てる。
- ・規則正しい生活習慣と学習習慣の確立により、学力向上を目指す。

	領域	重点評価項目	教職員	生徒	学校 関係者	総合評価	備考
1	学校経営	学校は、建学の精神・教育方針・教育目標に基づいて学校づくりを行っている	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では学習活動・学校行事・部活動などで特色のある教育活動が行われている	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
2	学習指導	カリキュラムは生徒の学力・個性を伸ばし、将来の希望を実現するように工夫されている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		お子さんの学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、授業では教材や教え方に様々な工夫をしている。	A	A	—	A	教職員・生徒
		学校は、より高いレベルを目指す生徒へ配慮した教科指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている。	B	B	B	B	教職員・生徒・学校関係者
3	生徒指導	学校の生活指導の方針は、生徒や保護者に明確に示されている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		生徒の自立・自律する気持ちを大切にした生活指導を行っている。	B	A	—	A	教職員・生徒
		学校は、適切な人権教育を行い、人権が尊重される学校づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
4	進路指導	生徒の進路目標を明確にするために適切な指導を行っている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		生徒に必要な進路情報を適切に提供されている。	A	B	B	B	教職員・生徒・学校関係者
		【高校生のみ】大学進学に向けた実力養成の機会(講習・模試など)を十分に提供されている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		【高校生のみ】学校は、生徒の文系理系の選択や科目の選択について十分に指導を行っている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
5	特別活動等	生徒にとって有意義な学校行事を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校として、部活動は活発に行われている。	B	B	A	B	教職員・生徒・学校関係者
		生徒会活動は活発に行われている。	A	A	B	A	教職員・生徒・学校関係者
6	保健・安全管理	学校は、交通安全・防災・健康教育に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は生徒の安全や健康管理に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は環境美化に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
7	教育環境	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている。	B	B	B	B	教職員・生徒・学校関係者
8	保護者との連携	学校は保護者の意見を積極的に聴こうとしている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は保護者の学校行事への参加について十分な配慮をしている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
9	その他	学校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	B	B	A	B	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、学校からの文書やメール、ホームページなどによって、学校の情報を保護者に適切に伝えている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学園生の学校生活は充実している。	—	A	A	A	生徒・学校関係者

2016年12月1日(木)～2016年12月20日(火) 教職員、生徒、学校関係者にアンケート形式で実施

評価表の見方 本年度の教育活動に対する総合評価をABCDの4段階評価で示す

- ・評価者は教職員・生徒・学校関係者の3者を原則とするが、一部、3者によらない例外も設定されている。
- ・ABCDの基準は、アンケートを集約した結果、肯定的な評価(75%以上)=A、(75%未満～50%以上)=B、(50%未満～25%)=C、(25%未満)=Dとする。